

領域5 インフォーマルミーティング 議事録

日付：2023.09.17 東北大学川内キャンパス

出席者：領域代表・副代表・運営委員を含む計28名

配布資料：発表スライドは未配布

1. 審議

- 1-1 運営委員の紹介
- 1-2 領域活性化について
- 1-3 オンライン開催のポスター発表の方法（ツール）
- 1-4 プログラム編集の負担軽減（応物のシステム導入）
- 1-5 英語講演者のいるシンポジウムの英語化
- 1-6 「計算物理」領域の立ち上げ
- 1-7 領域5のキーワードについて

2. 案内

- 2-1 招待講演・シンポジウム・企画講演
- 2-2 招待講演とチュートリアル講演の区分け
- 2-3 領域5 広報用 X(twitter)アカウントの開設

◆審議 1-1 運営委員の紹介

- ・今期代表・副代表・運営委員の紹介が行われた。
- ・来期代表・副代表・運営委員の紹介が行われた。
- ・次々期の運営委員について下記の3名について承認された。
下記の3名を物理学会に推薦予定。
 - 内田 健人（京都大学）
 - 関口 文哉（東京大学低温センター）
 - 三石 夏樹（理化学研究所）

◆審議 1-2 領域活性化について

- ・発表件数について

オンライン開催と現地開催で 2005 年から全体として減少傾向にあるとの説明があった。オンライン開催に対して現地開催では発表者数が増加するが、現地開催だけで比較すると同程度の発表者数である。次回の春の学会での人数が重要なので注視が必要である。コロナ前から、ポスター発表の比率が減少しており、学生優秀賞を設立したが応募件数は改善しなかった。学生優秀賞の対象はポスター発表であるが、口頭発表での申請が 11 件と多かった。注意喚起の徹底を改めて行う必要あり。

・他領域との比較

2017 年と比較して全領域で減少傾向にある。領域 5 全体の講演者数は減少傾向であるが、他領域と比較して特別大きいわけではないとの説明があった。オンライン開催では全領域で発表者数が減少する傾向にあり、今後の動向を注視する必要がある。

・企画公演の提案

2021 から増加傾向にあり、今回は 8 件の企画講演があり、今後も企画講演の提案を継続すべきとの説明があった。オンライン開催では運営委員からの提案が多く、コミュニティの中からの提案をお願いした。

◆審議 1-3 オンライン開催のポスター発表の方法（ツール）

ポスター発表について zoom 以外のツール(Spatial Chat や Remo)を使うことについての議論があった。

◆審議 1-4 プログラム編集の負担軽減（応物のシステム導入）

- ・領域をまたぐ重複講演者・座長はメールベースで調整・確認しているのが現状である。
- ・応用物理学会などでは Confit というプログラム編集ツールを活用しているので、物理学会でも導入することを提言すべきという意見があった。その導入には参加費の増加が必要であり、応用物理学会とは規模が違うので導入にかかる経費の試算が必要であるとの意見があった。

◆審議 1-5 英語講演者のいるシンポジウムの英語化

英語で講演を行うことを要請すると、発表者数の減少が懸念されるとの意見もあったが、英語講演者のいるシンポジウムでは、原則、講演（概要も含めて）は英語で行うことについて

の合意が得られた。また、以前に、スライドやポスターは原則英語にするとなっていたが、そのことが周知されておらず、領域メールやセッションの始まりなどで周知することや先生が学生に伝えることで大体の合意があった

◆審議 1-6 「計算物理」領域の立ち上げ

片山領域代表から計算物理領域の立ち上げについての経緯の説明があった。

スパコン、量子、AI に関する領域であり、来年 4 月から施行を企画しており、理事会の試算では 100 件以上の発表者数が確保できるとの説明があったが、本当に確保できるか検討してほしいとの意見があった。

実際に施行した際に、理論家が計算物理領域で発表するか、領域 5 で発表するか、について注視が必要との意見があった。

◆審議 1-7 領域 5 のキーワードについて

超イオン導電体・イオン伝導体に関する研究者にとって、第 1 キーワードが適切でないとの説明があった。第 1 キーワードにイオン伝導測定などのキーワードを追加する提案があった。

第 2 キーワードに超高速現象がなくなって、応用物理学会に発表者が流出しているとの意見があった。現在のキーワードに、超高速現象を追加するのはどうかという意見があった。

10 月にキーワード編成があるので、運営委員で議論が必要である。

◆案内 2-1 招待講演・シンポジウム・企画講演

・今期に開催されているシンポジウム、チュートリアル講演・招待講演の案内が行われた。

◆案内 2-2 招待講演とチュートリアル講演の区分け

・企画講演提案に関する説明が行われた。招待講演とチュートリアル講演の区分けについて説明が行われた。

※大会申し込み前に、なるべく運営委員に相談していただきたい旨が説明された。

締切は 10 月中旬。

◆案内 2-3 領域 5 広報用 X(twitter)アカウントの開設

領域 5 広報用 X(twitter)アカウントの案内が行われた。

領域メールで周知するように意見があった。